



火の見櫓

(題字は 柴谷八尾市長)

発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
小角道男
八尾市高美町5-7
TEL(0729)92-0119
FAX(0729)92-7722



左から、西川団員・山科団員
西口団員・松本団員

志紀分団 山科・阪本

志紀分団はこの大会に向けて、約4ヶ月もの期間、消防本部指導のもと選手をはじめ団員全員が一丸となって練習を行ってきた結果、本番では大きなミスもなく見事準優勝に輝きました。

これからも、この訓練で得た技術を団員一同、消防団活動に役立てて行きたいと思えます。

平成16年9月5日(日)大阪府立消防学校において、第48回大阪府消防大会が開催されました。

志紀分団の精鋭の中から選ばれた4名が出場した大会は、小型ポンプを使用して、規律・実戦操作が迅速かつ的確に行われているかを審査されるものです。

大阪府消防大会



☆☆☆☆
 ☆☆☆☆
 任命式

平成16年4月1日、消防団員の任命式が挙行され、24名の新団員が誕生しました。
 若き精鋭の抱負等を伺いました。

- ①職業
- ②趣味
- ③抱負

新 団 員 紹 介



浦本 宏次(曙川)
 ①サービスマン
 ②スポーツ全般・映画鑑賞
 ③地域の方々のお役に立てる様にと考えております。



高田 光陽(曙川)
 ①建設業
 ②バイクツーリング
 ③地域社会に貢献したく入団しました。先輩達に負けないように頑張ります。



今西 寛(大正)
 ①ガラス加工業
 ②旅行・ドライブ
 ③市民の安全を守っていきけるようにがんばります。



今西 正信(大正)
 ①金属加工業
 ②自転車
 ③社会に貢献できるように頑張ります。



西山 孝文(大正)
 ①自動車整備業
 ②ゴルフ
 ③防災活動に微力ながら地域住民のためにがんばります。



黒岡 貞一(南高安)
 ①運送業
 ②ドライブ
 ③日々努力します。



山口 泰憲(南高安)
 ①電気工事
 ②ソフトボール
 ③活躍できる男になりたい。



寺川 典克(南高安)
 ①会社員
 ②ドライブ・ゴルフ
 ③消防団員として一生懸命、訓練に励もうと思えます。



松村 吉富(南高安)
 ①自営業
 ②ラジコン
 ③地域住民のお役に立てるように頑張っています。



西村 成広(南高安)
 ①会社員
 ②旅行
 ③消防団員としての動きができるように、自分の役割を果たします。



本間 憲卓(高安)
 ①自動車整備
 ②パソコン
 ③地域防災に貢献できるように頑張りたいと思います。



川原 裕(高安)
 ①会社員
 ②特になし
 ③早く団活動になれる積極的に活動できるようにがんばります。



西山 勝博(南高安)
 ①造園業
 ②釣り
 ③出来ることを精一杯がんばります。



坂井 貴光(南高安)
 ①運送業
 ②釣り
 ③足を引つ張らないようにがんばります。



亀田 正之(南高安)
 ①会社員
 ②釣り
 ③地域に役立てるようがんばります。



山本 剛久 (志紀)

- ① 自営業
- ② バイクツーリング
- ③ 地域防災に役立てるよう先輩方の指導のもと頑張ります。



山野 清 (山本)

- ① 保険代理店
- ② 映画鑑賞
- ③ 1回でも多く現場に出場して皆さんの役に立ちたいと思います。



鹿野 廣之 (山本)

- ① 建設業
- ② 食べ歩き
- ③ 出来る限りがんばりますのでよろしくおねがいします。



寺内 亮仁 (山本)

- ① 会社員
- ② ジョギング
- ③ 消防団員として精一杯やっています。



井上 幸洋 (高安)

- ① 生花業
- ② 映画鑑賞
- ③ 消防団員として地域に貢献できるようにになりたいと思います。



橋本 満男 (西郡)

- ① 建設業
- ② 祭り
- ③ 自分たち若い者が消防団で力を合わせて村の役に立ちたいと思っています。



江口 佳之 (西郡)

- ① 花卸業
- ② 祭り
- ③ 西郡という所が好きなので、これからも自分たちで守っていかうと思っています。



北江 公啓 (西郡)

- ① 学生
- ② 祭り
- ③ 自分の生まれ育った町を自分たちの手で守っていかたいです。



吉田 章太郎 (西郡)

- ① 会社員
- ② 祭り
- ③ 自分の大切な人や物を失わせてしまう災害を防がないといけないと思っています。

名物団員

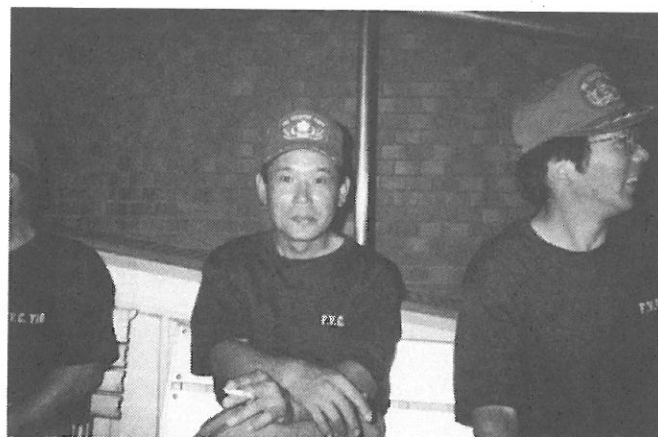
今回紹介するのは、高安分団の植田竹治副分団長です。分団では「タケちゃん」の愛称で親しまれ広報部会が発足した当時、広報部員として活躍していました。

本業は、花卉栽培をしているのですが、趣味でソフトボールの公式審判員をしています。

公式審判員になつたきっかけは、彼が地区の体育指導員をしていた時に、市の子供会連合のソフトボール大会の審判の手伝いに行き公式審判員の方のメリハリのある判定、スタイル、ユニフォームなどを見て、「審判」というものに興味を持ったことです。もともとプレーする方が好きなタケちゃんでしたが、一九九七年に大阪府公認審判員の資格を取得し八尾市ソフトボール協会の一員になつてしまいました。審判員になつた頃は、色々失敗もあつたようですが、現在は、日本ソフトボール協会の2種の資格を取得し、八尾市ソフトボール協会審判部の主任までになりました。そして1種資格取得(国体、実業団リーグの審判員)を目指して日々研修を重ねて

いるそうです。これからも体気をつけて本業、消防団活動、審判員と忙しいと思いますが、頑張ってください。

高安分団 小西



《本人談》

他の審判員の方々もいろんな職業の人がおられ自分自身の輪も広がり楽しいです。また、審判の経験を通じていくにつれてその奥深さと魅力を感じています。審判員に興味のある方お待ちしています。

090・3263・2139まで
よろしく

分 団 2004年

イ と つ オ メ ー シ ョ ン

大正分団

「どうして？」
火の見櫓

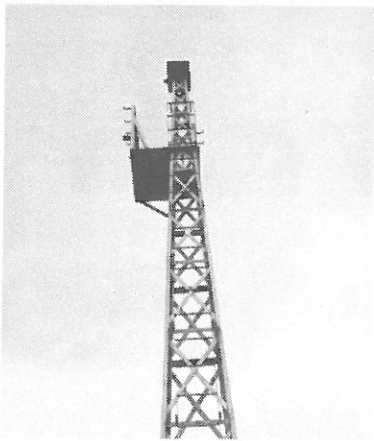
「お父さんどうしてこの新聞は火の見櫓と言うの？」か聞かれ本部にお聞きしました。すると「公募できまりました」と言う返答でした。

そもそも火の見櫓と言うものは、江戸時代に火災の発生を住民に知らせ、避難や消火の出勤を促すために設置されたのが始まりです。

初代は、丸太を一本立て太い釘のようなものを左右に打ち込み登れるようにした簡単なものでした。(電柱を思い浮かべて頂ければ良いと思うのですが)

2代目は、昭和の初めで、杉の丸太4本を立てて片面に梯子を取り付け上部に半鐘を吊るしたものです。初代及び2代目は、櫓というより“火の見梯子”でした。現在の鉄骨製に立て替えられたのは、昭和三十年代になってからのことです。そして電話の普及と共に現役を引退しました。

内山



(大正分団太田分隊の火の見櫓)

久宝寺分団

家族への感謝

円滑な団活動は、家族の協力があつてこそ。私達は、日頃の感謝と合わせ、家族間の親睦を図るため、8月28日(土)に、初めての家族親睦会を開きました。

夜の7時から屯所に集まり、約3時間ほどですが、乾杯の後、団員の家族紹介、手作りの軽食で盛り上がりました。

子供達のために何か出来ることはないかと考え、なんと、屯所の中で、スイカ割りをしました。結構これが一番の盛り上がりだったようです。あと放水訓練を行い、子供達にも少し体験してもらいました。

団員の家族同士が集まることなど、ほとんど無かったのですが、このような機会を時々持ち、いずれは家族旅行を行いたいとも考えています。短い時間でしたが、大変楽しいひと時でした。

志村



曙川分団
静電気の怖さ

昨冬、静電気による火災が発生したという記事を見て、我が分団杉田方面隊長指導の下、静電気の勉強会を行いました。

なぜ静電気は発生するのでしょうか？地球上の全ての物体には(十)と(一)の電気が存在しています。中和を保つことで安定しています。ところが摩擦や接触、はく離などによってそのバランスが崩れます。そして(十)あるいは(一)に偏った状態で物体や人体に蓄積された電気が静電気です。冬場に衣類を脱ぐ時、バチツとくるあの嫌な衝撃は電氣的に安定した中和状態に戻ろうと静電気が放電する瞬間なのです。

ではなぜその静電気が恐ろしいのかというと、静電気が放電する瞬間に火花も発生するからなのです。

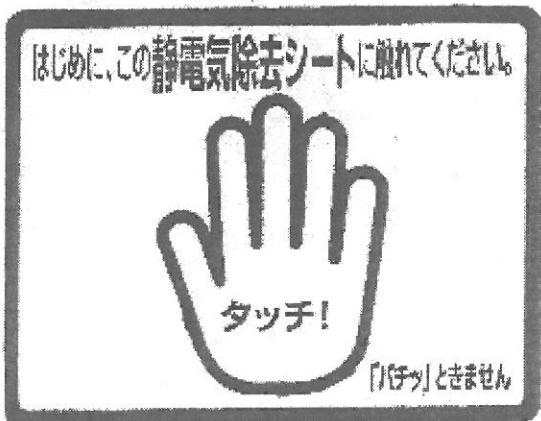
最近ではセルフ式のカソリンスタンドが増えてきて利用された方もあると思いますが、体に静電気をいっっぱい溜め込んだ状態で給油

するのは危険です。給油キャップを開けた時、指先から静電気が放電され、同時に発生した火花にガソリンの蒸気が引火するからです。

皆様も利用される時には、備え付けの放電マットや金属に触り、自分の体に帯電している静電気を放電してから給油キャップに触って下さい。

これからの冬場は特に静電気が起こりやすいです。思わぬ所で火種となる可能性があるため可燃性蒸気が発生するような場所では静電気対策に十分注意してください。

吉村



高安分団
盆踊り

平成16年8月7日(土)、八尾市立高安中学校において、高安コミセン盆踊り大会が行われました。

毎年8月の第一土曜日に開催されるこの盆踊り大会は、コミセン委員の方々が中心となり、櫓及び会場の設営から撤去まですべてがボランティアで行われます。

分団長、副分団長は、朝早くからこれに協力し、団員たちは、午後7時〜10時の間、場内警備を担当しました。一日だけの盆踊り大会なのですが、同時に、地域の中学生たちが、育成会や青少年指導員の人達の協力を得て夜店を出す「少年団ふれあい祭り」も開催されたので、お年寄りや親子連れも多くたいへんにぎわいました。

今年も、巡回中、迷子や怪我人等何事もなく無事終わることができました。これからもこういった地域行事に積極的に参加、協力し、地域に密着した消防団を目指してがんばって行こうと思います。

小西

八尾分団
親睦ゴルフコンペ

5月16日(日)に八尾分団の第一回ゴルフコンペを行いました。

全員の参加とはいきませんでした。ベテランから初心者までの有志7名にて滋賀県の富士スタジアムにて実施しました。

当日は残念ながら朝から大雨で、全員の「やる気」もトーンダウンの状況でしたが、いざコースにでると、ティーショットから力が入りOBを連発する人もおり、皆の闘志にも火がついていきました。

今回は3位から5位に賞品が準備されていましたが、日頃の優勝候補がチャッカリと3位に入り、賞品を持って帰りました。

雨は最後まで止まず、天候にはめぐまれませんでしたが、八尾分団の親睦を深めるとともに楽しい一時を過ごすことができました。

岩崎



大阪府地域防災訓練



5月14日(金) 藤井寺市市川北3丁目の大和川右岸河川敷にて、大阪府、大阪市、近畿地方整備局主催による防災訓練に防災機関39機関、ヘリコプター6機、舟艇5艇、車両57台、バイク8台、人員一三二〇名が参加するという大規模な総合演習が行われました。訓練は大型台風による豪雨のため、大和川の水位が急激に上昇し水防警報発令されたとの想定で進められ、八尾市消防団(久宝寺分団、西郡分団、八尾分団、龍華分団)

は、杭打積土の工(川裏法崩壊防止)という水防工法を行いました。この工法は川裏側の堤防法面が崩壊したとき、または法崩れの恐れがあるとき、その下部に杭を打ち並べ積土のうを行い、その拡大を防止する工法である。訓練の前日には大雨が降り八尾市内でも何件かの床下浸水の被害がありました。また6月に台風が上陸するというケースもあり、訓練に参加し、このような災害が起らないことを祈るとともに、起った時は各地域、機関との連携を保ち、的確に対処できるように防災に対しての意識と団員としての自覚を高める訓練となりました。

龍華分団 岡田・村井



初任・幹部教養

5月23日(日) 大阪府府立消防学校にて、平成16年度中河内地区初任・幹部科研修が行われました。

はじめに消防の歴史・組織及び制度の講義を受け、その後初任科は訓練礼式や実践に必要なポンプ操作などの基礎的な知識、技術を習得しました。

私の受講した幹部科は、火災防ぎよの講習をビデオを見ながら受けました。火災防ぎよとは、火災によつて発生する熱・煙・有害ガス(CO・CO2等)、爆発及び物の倒壊、落下、その他の危険から人の生命・財産などを保護するための消火、延焼防止、人命救助、避難誘導、排煙等を中心とするその他の関連活動の一切である。

特にフラッシュオーバー、バツクドラフトの場面では、火災の恐ろしさを再認識しました。午後には、訓練礼式の実習で、各個訓練と小隊訓練を行いました。小隊訓練では、今までは号令を受ける側だったが、初めて号令をかけました。予令、動令の難しさを実感しました。

今後、この経験を活かし消防団活動に励みたいと思います。
南高安分団 黒岡正



八消会ゴルフコンペ

平成16年6月9日(水)、小角団長以下58名が参加し、春日台カントリークラブにおいて、第21回八消会ゴルフコンペが好天に恵まれ盛大に行われました。

結果は左記のとおりでした。

- 1位 平岡 元司
- 2位 川合 清隆
- 3位 松本 圭司

山本分団 村島

今こそ高めよう!

▽ 防災意識 ▲



9月12日八尾南高校跡地で大阪府・中河内地域3市(八尾・柏原・東大阪)の大規模な合同防災訓練が、大阪府副知事をはじめ防災関係機関・地域住民約一万余名の参加員で実施されました。

今回の訓練は住民参加の体験型訓練で、煙・放水・地震・119番通報・心肺蘇生のほか、防災講演や前日からの夜間避難所運営訓練などを体験し、参加者からは9月に入って立て続けに震度5弱の地震や強風の台風があったばかり

で、改めて自然災害の恐ろしさを痛感した。今回の体験を生かし発生が懸念されている南海地震や台風・火災・水害に対し「備えをしつかりしておかなければ」と言う意見が数多く聞かれました。
大正分団はエンディングセレモニーで柏原と東大阪の消防団と共に一斉放水で今回の訓練を締めくくり、住民のみなさんより盛大な拍手を受けました。
その後の反省会で、倒壊家屋からの救出のためチェーンソーのような備えも必要ではないかという意見が出て、分団でどこまでの備えが必要なのかと言うのが今後の課題となりました。

大正分団 杉本



恩智川水防事務組合
創立五十周年記念式典

平成16年7月4日(日)、八尾市農協会館ホールにて、「恩智川水防事務組合創立五十周年記念式典」が盛大に開催されました。

本組合は、昭和29年5月に東部恩智川水防組合として設立され、現在は東大阪市と八尾市を合わせて、6名の議員と総勢802名(定数)の水防(消防)団員、事務局で構成されています。

活動としては、水防法及び大阪府水防計画並びに組合の水防計画に基づき、毎年、大阪府地域防災総合演習及び組合主催の水防訓練等を行っています。

式典当日は、このような日頃の活動の榮譽を称え、第一部では、功労者に対して表彰状が授与され、東大阪市、八尾市の各分団には感謝状が贈呈されました。

第二部は、堺泉北埠頭株式会社代表取締役社長の池野誓男氏より「河内平野の治水今昔」と題してご講演会をいただきました。講演の下り、「川は三六五日の内、三六〇日は穏やかである。」と言う



言葉が印象に残りました。この夏、その言葉どおり新潟や福井では、日頃穏やかであろう川が大雨により大水害をもたらしました。今後も、日頃から川に親しみつつ、水防活動に力を入れていかねばと改めて感じました。

久宝寺分団 岡井



好つきやねん久宝寺

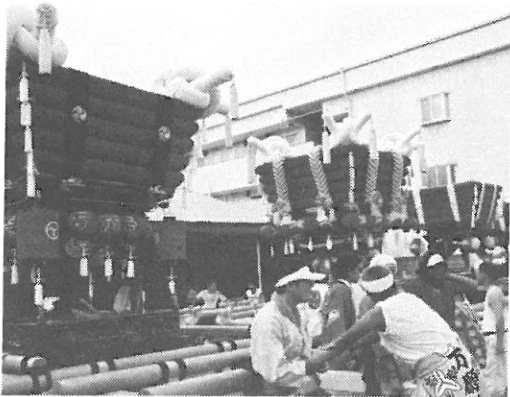


毎年恒例の「好つきやねん・久宝寺祭り」が9月19日(日)久宝寺小学校にて行なわれました。

この催しは、校庭で育成会の方々による出店や工作コーナー、バザーなどを行なっています。

体育館では、各団体の方々の音楽会、演劇など、日頃の練習の成果を披露して、お年寄りの方達に楽しんでもらっています。

私達消防団は、校庭の一部でポンプ積載車と本部に新しく配備になったミニポンプ積載車をお借りして、地域の方々にふれあっているだけで、また子供用の消防服も貸



山本分団 万願寺夏祭り

八尾市消防団は、各種災害・消防関係行事以外にも地域に密着した活動を行っています。その中の一つに夏・秋祭りや地域の祭り等の警戒警備、また櫓等の設置、後片付け等にも積極的に参加しています。今回は消防団が活動する各種祭りをご紹介いたします。

広報部

消防団が活動する各種祭り

出して、消防車をバックに写真を撮ったりして頂きました。このような機会がないかぎり、消防車にふれたり、乗ることのない子供達は、すごく楽しんでくれていたようです。

久宝寺分団 志村



久宝寺分団 許麻神社夏祭り



八尾分団 加津良神社秋祭り

● 広報部会名簿 ●

委員 長	高安分団	小西光往
副委員 長	八尾分団	小川元清
委員	久宝寺分団	志村武
	久宝寺分団	岡井淳治
	西郡分団	嶋林正雄
	八尾分団	小笠原志一
	龍華分団	武林広高
	大正分団	岡田真一
	曙川分団	杉本啓一
	南高安分団	内山芳彦
	馬谷	藤井善文
	黒岡	吉村孝二
	吉村	吉村孝二
	馬谷	吉村孝二
	奥田	吉村孝二
	山田	吉村孝二
	酒井	吉村孝二
	村友	吉村孝二
	山本	吉村孝二
	川島	吉村孝二
	山科	吉村孝二
	山科	吉村孝二
	志紀分団	阪本健一

編集後記

おかげさまで「火の見櫓」第14号も発刊のはこびとなりました。今号は、新しい広報部員の方も多く、何もわからない中、何かとご苦労されたことと思います。これにこりずに、また15号に向けて、記事やアイデア等、積極的にお願いします。(小西)